いばらき読書フェスティバル2019特別講演会

放送大学ライブラリー講演会

小説の中の日本の近代ー
夏目漱石「門」と村上春樹「スパナ」の会話の効果

講演の内容

明治以降の日本の小説は，書き言葉から話し言葉へと大きな変革を遂げました。「」のマークをつけた会話文は，小説表現の世界を広げましたが，果たしてそれはわかりやすいものになったのでしょうか。生きた時代も個性も違う二人の大作家の文章に注目し，会話文のもつ奥行きと作家の工夫を知り，近代においても一様でない会話の意義を考えていきます。

講　師　元茨城大学教授
NHKカルチャー講師

杉井　和子　氏

日時　１１月３日（日）
13:30～15:30

会場　茨城県立図書館
視聴覚ホール

事前の申込は必要ありません。どなたでも，ご自由にお聞きいただけます。

放送大学ライブラリー講演会とは・・・

毎月１回（７月，１月を除く），放送大学茨城学習センター教授等の専門分野について，わかりやすく解説するものです。

※できるだけ公共交通機関をご利用願います。お車の場合は，三の丸庁舎（旧県庁舎）駐車場をご利用ください。

主　催	放送大学茨城学習センター	TEL：029-228-0683
	茨城県立図書館	TEL：029-221-5569　Eﾒｰﾙ：info@lib.pref.ibaraki.jp